

十三小学校研究推進便り

11月8日（火）、5時限目 第7回の研究授業。

3年 感想を伝え合おう。

「サーカスのライオン」

森 美智子 学級

<研究授業参観に当たって>

6回目の研究授業となりました。昨年度と同じ教材での学習ですが、協働的な学習をめざして、昨年度とはまた違った形での流れに取り組んでいただきます。子ども達が意欲的に考えて交流するための発問についても、みんなで考えていきたいと思えます。

<研究授業では、つぎの視点でみてください>

単元構成の工夫（単元を貫く言語活動）

「読みの観点」の習得→活用が図れる流れであったか。

- ① 言語活動に迫るための活動が効果的であったか。

協働的な学びに迫る交流について

- ① 自分の考えを持つための工夫（ワークシートやノート指導、助言、思考ツール等）
- ② 交流のあり方

言語力・表現力を高める工夫

- ① 掲示物は適切か。
- ② 関連図書が生かされているか。

<森先生のつぶやき>

去年の研究授業と同じ単元を選びました。そのときの指導好評を読み返し、三軒先生がアドバイスをされた「じんざ日記」を取り入れようと考えたのですが、そうすると場面ごとに立ち止って読むという従来通りの展開しか頭に浮かびませんでした。

頂いた資料や本を読み取り「物語全体を丸ごととらえて読む」とこと「判断を促す発問」を考えることに絞って指導案を作りました。アクティブな学びを行うための国語の力を育てるには、白石先生が「用語・用法を教える」「問いを子どもから出させる」と言われていたので、1次はその基礎基本の指導と問いを出すことに当て、2次を協働的な学びの場、3次を自分の学びを振り返る力試しの場と考えました。

机上の空論で終わらないよう、子ども達と対話を楽しみながら授業をしていきたいと思えます。

<授業参観後の討議会について>

ワークショップ型の討議会を行います。授業を参観しながら、気付いたことを付箋「成果（ピンク）」「課題（黄）」「改善策（青）」に記入してください。

今回は、3班（1グループ4～5人）に分かれて話し合います。裏面で班と役割を確認してください。

○自分の思いや考えを広げたり高めたりするための話し合いの評価をする。

- (低学年) ・ 大事なことを落とさずに話したり聞いたりできたか。
 - ・ 順序を考えて話すことができているか。
 - ・ 自分の意見に理由を言うことができたか。

- (中学年) ・ 友達の意見を聞いて自分と同じところ、違うところを意識できたか。
 - ・ 友達の意見に対して自分の考えを言うことができたか。
 - ・ 理由や例などを挙げて自分の意見を説明できたか。

- (高学年) ・ お互いの意見を聞いて、考えの変化に気づいたり、新たに思ったことや考えたことが見つかったりしたか。
 - ・ 目的や意図に応じて的確に話しあうことができたか。
 - ・ 複数の根拠を関係づけながら話すことができたか。